

えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

夏休み、全校で学習サポート凡事徹底 えりも小では、高校生も支援

本取組は、休み中の学習習慣を身に付けることやつまずきなどを克服することを主な目的として実施されています。

小学校では3日間2時間、中学校では部活動1時間前に取り組みました。えりも小では高校生が学習サポート役を務めてくれました。

がんばる小学生・中学生



えり小では、えり高生8人がボランティアとして参加し、先生と熱心に教えてくれました。



庶野小では、全校児童が集まり、それぞれ用意したドリルなどを持参し真剣に取り組んでいた姿が印象的でした。



東洋小では、学年ごとに教室で一学期の復習を中心に学習に取り組んでいました。特に、一人ひとりが普段の学習時間と同じように、しっかりと学習の約束事を守って学習に取り組んでいた姿が印象的でした。



えりも岬小では、学習室に全校の児童が集まり、自主学習に取り組んでいました。互いに教え合ったり先生に聞いていた姿が印象的でした。



笛舞小では、学年ごとに分かれて1学期の復習に取り組んでいました。自分の弱点のプリントや夏休みの宿題を解き、分からないところなどを先生に聞いていた姿が印象的でした。

伝統ある運動会の開会式



これは運動会の開会式の様子です。庶野小学校では、集合場所から赤組と白組に分かれて、グラウンドを行進し、正面に入って開会式を行います。

今日、学校においては、集会も少なく、とりわけ行進などの取組は、貴重な学びの場となるものです。

運動会で1年生も先輩の立派な行進を見習い、手を振り歩いていたのが印象的でした。

特に、運動会や体育大会にあっては、ただ単に、開会式を行うという発想ではなく、その取組を多方面から指導の場として創意工夫することが大切です。庶野小学校の運動会は、そのような意味で各学校に問うものと言えます。

児童会中心の体力づくり



庶野小学校の児童会では、体力づくりや全校児童がより仲良く過ごすために、いろいろな企画をしています。

昨年度は児童会書記局で4回、保健体育委員会で4回程度の全校遊びや体力づくりを行いました。全校遊びでは瞬発力と持久力を身に付けることを目標に鬼ごっこ的な遊びを工夫しています。また、マラソン記録会前には保健委員会が企画し、フリータイムに音楽を流してみんなで楽しみながら走る練習をしています。

今年もしっぽ取りゲームを2回行いましたが、1回目の反省を書記局が行って工夫を図りました。これからもみんなで楽しみながら、体力を向上させたいと考えています。

自らの考えを発表する場



これは、複式学級で先生が他の学年の指導に当たっている（直接指導時）時間に、児童一人一人が考える間接指導時に自分の考えをホワイトボードで掲示し、その後、自分の考えを説明しています。写真は自分の考えを深める時間（今、叫ばれているアクティブ・ラーニングに当たりますが）に発表している場面です。

複式授業は、2学年が同じ教室で、学年ごとに学習（学年別指導）を進めます。特に、学力差が顕著に表れる国語や算数をはじめ社会、理科についても学年別指導をしています。図工や体育などは個人差を考えながら2学年と一緒に学習しています。